

# 平成27（2015）年度 予算要求状況について

## ◎予算要求額

### 1. 要求総額

歳入	394億4,400万円	+2.9%（前年度当初予算比）
歳出	423億6,200万円	+10.6%（前年度当初予算比）
財源不足額	29億1,800万円	+17億1,000万円（前年度当初要求時比）

歳入のうち、基幹である市税は、個人所得割や固定資産税（家屋）の減を主として、軽自動車税以外の税目で減収を見込んだため、4億4,600万円（4.4%）の減額要求です。その他、生活保護・児童・医療・介護にかかる給付費などの伸びに伴う国・県支出金等の伸びを見込んだ結果、歳入予算は394億4,400万円、11億2,600万円（2.9%）の増要求となっています。

一方の歳出は、特別会計への繰出金及び生活保護・児童・医療・介護における給付費などの社会保障関係費の伸びを中心に、公共施設の更新需要の増加もあり歳出予算は423億6,200万円、40億4,400万円（10.6%）の増要求です。

これらにより、要求段階での財源不足額は29億1,800万円（前年度当初要求時比17億1,000万円の拡大）です。今後の予算編成過程でこの収支ギャップを解消していきます。

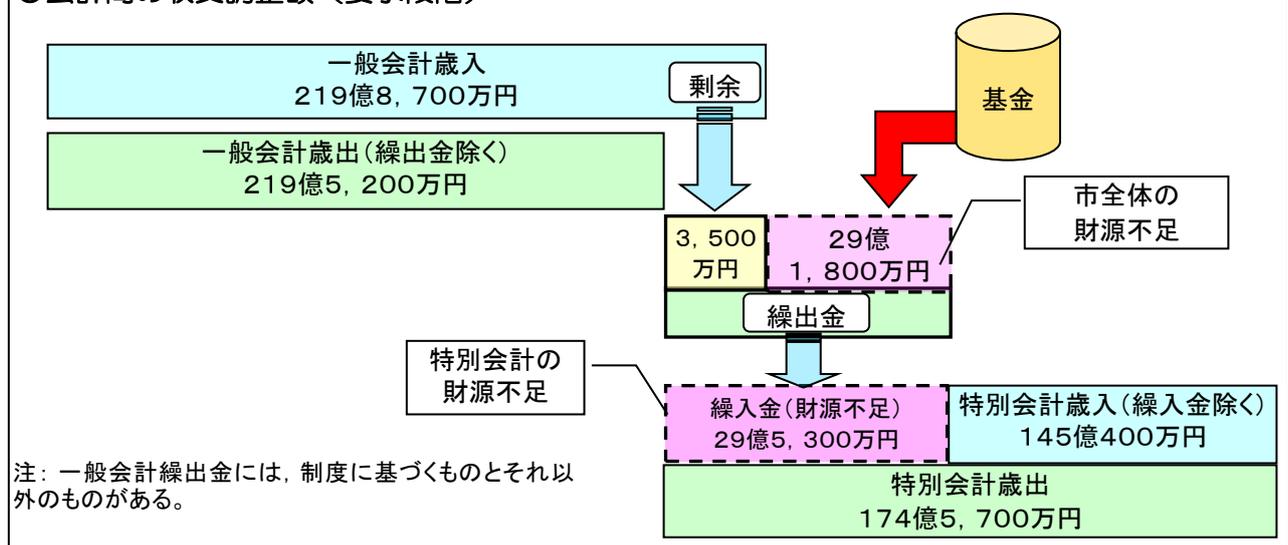
### 2. 会計別要求状況

単位：千円

会計名	平成27年度要求額		平成26年度 当初予算額	比較		増減率(%)	
	歳入	歳出		歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	21,986,632	24,905,029	22,830,000	△ 843,368	2,075,029	△ 3.7	9.1
国民健康保険事業	9,103,500	9,103,500	7,881,000	1,222,500	1,222,500	15.5	15.5
公共下水道事業	2,246,568	2,246,568	2,047,400	199,168	199,168	9.7	9.7
農業集落排水事業	64,139	64,139	59,800	4,339	4,339	7.3	7.3
介護保険事業	4,844,316	4,844,316	4,362,000	482,316	482,316	11.1	11.1
障がい児支援サービス事業	36,846	36,846	27,300	9,546	9,546	35.0	35.0
後期高齢者医療事業	1,139,132	1,139,132	1,094,000	45,132	45,132	4.1	4.1
介護サービス事業	22,833	22,833	16,800	6,033	6,033	35.9	35.9
特別会計合計	17,457,334	17,457,334	15,488,300	1,969,034	1,969,034	12.7	12.7
総計	39,443,966	42,362,363	38,318,300	1,125,666	4,044,063	2.9	10.6

注：各特別会計の収支ギャップ(赤字)は、一般会計からの繰入金で調整。

### ○会計間の収支調整額（要求段階）



◎会計間の収支ギャップ調整の仕組み

1. 会計

区分	一般会計(繰出前)		特別会計(繰入前)	
歳入	219億8,700万円	△1.6%	145億400万円	+11.2%
歳出	219億5,200万円	+5.4%	174億5,700万円	+10.7%
財源不足額	+3,500万円		△29億5,300万円	

注:財源不足欄の+は、黒字。増減率は、前年度当初要求時比。

2. 特別会計繰入金要求状況(一般会計による補てん必要額)

単位:千円

会計名	平成27年度 要求額	平成26年度 当初予算額	比較	増減率 (%)
国民健康保険事業	891,465	760,373	131,092	17.2
公共下水道事業	558,808	385,008	173,800	45.1
農業集落排水事業	42,773	38,968	3,805	9.8
介護保険事業	765,228	648,376	116,852	18.0
障がい児支援サービス事業	26,018	17,612	8,406	47.7
後期高齢者医療事業	665,180	627,707	37,473	6.0
介護サービス事業	3,945	421	3,524	837.1
合計	2,953,417	2,478,465	474,952	19.2

◎今後の予算編成作業

予算要求段階での財源不足額は、総額29億1,800万円です。要求内容を精査し、事業効果・緊急性などを勘案した事業の厳選等によって歳出予算を削減するとともに、徴収率向上等による一般財源その他歳入を確保して、財源不足額の解消に最大限努力します。

なお、平成27年度政府予算案が未定のため、予算要求はおおむね現行制度に基づくものです。最新情報の収集に努め、今後の予算編成過程で弾力的に対応します。

また、当市の最上位計画である「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に掲げた目標の実現に向けて、「主要事業」として位置付けられた事業については優先的に財源を配分し、その取組を確実に推進します。

【ふるさと龍ヶ崎戦略プランにおける重点戦略】

1. 協働のまちづくりと地域力のアップ
2. 若者・子育て世代の定住環境の創出
3. まちの活性化と知名度アップ
4. 安心と住みよさが実感できる生活環境づくり

